

# 国土形成計画(全国計画) 原案概要

---

# 新たな国土形成計画(全国計画) 原案(概要)

## 新たな国土の将来ビジョン

計画期間：2050年さらにその先の長期を見据えつつ、今後概ね10年間

### 時代の重大な岐路に立つ国土 《我が国が直面するリスクと構造的な変化》

#### 地域の持続性、安全・安心を脅かすリスクの高まり

- ・未曾有の人口減少、少子高齢化がもたらす地方の危機
- ・巨大災害リスクの切迫(水災害の激甚化・頻発化、巨大地震・津波、火山噴火、雪害等)
- ・気候危機の深刻化(2050年カーボンニュートラル)、生物多様性の損失

#### コロナ禍を経た暮らし方・働き方の変化

- ・テレワークの進展による転職なき移住等の場所に縛られない暮らし方・働き方
- ・新たな地方・田園回帰の動き、地方での暮らしの魅力

#### 激動する世界の中での日本の立ち位置の変化

- ・DX、GXなど激化する国際競争の中での競争力の低下
- ・エネルギー・食料の海外依存リスクの高まり
- ・東アジア情勢など安全保障上の課題の深刻化

豊かな自然や文化を有する多彩な地域からなる国土を次世代に引き継ぐための**未来に希望を持てる国土の将来ビジョンが必要**

### 目指す国土の姿 「新時代に地域力をつなぐ国土 ～列島を支える新たな地域マネジメントの構築～」

#### デジタルとリアル融合による 活力ある国土づくり

～地域への誇りと愛着に根差した地域価値の向上～

#### 巨大災害、気候危機、緊迫化する国際情勢に対応する 安全・安心な国土づくり

～災害等に屈しないしなやかで強い国土～

#### 世界に誇る美しい自然と多彩な文化を育む 個性豊かな国土づくり

～森の国、海の国、文化の国～

国土づくりの戦略的視点 ①民の力を最大限発揮する官民連携 ②デジタルの徹底活用 ③生活者・利用者の利便の最適化 ④縦割りの打破(分野の垣根を越える横串の発想)

※南北に細長い日本列島における国土全体での連結強化  
※広域レベルからコミュニティレベルまで重層的な圏域形成

### 国土構造の基本構想 「シームレスな拠点連結型国土」

デジタルの徹底活用による場所や時間の制約を克服した国土構造への転換

〈広域的な機能の分散と連結強化〉  
階層間のネットワーク強化  
〈持続可能な生活圏の再構築〉

- ◆ 中核中核都市等を核とした広域圏の自立的発展、日本海側・太平洋側二面活用等の広域圏内・広域圏間の連結強化を図る「全国的な回廊ネットワーク」の形成
- ◆ リニア中央新幹線、新東名・新名神等により三大都市圏を結ぶ「日本中央回廊」の形成による地方活性化、国際競争力強化
- ◆ 生活に身近な地域コミュニティの再生(小さな拠点を核とした集落生活圏の形成、都市コミュニティの再生)
- ◆ 地方の中心都市を核とした市町村界にとらわれない新たな発想からの地域生活圏の形成

- 東京一極集中の是正(地方と東京のwin-winの関係構築)
- 国土の多様性(ダイバーシティ)、包摂性(インクルージョン)、持続性(サステナビリティ)、強靱性(レジリエンス)の向上

《国土の刷新に向けた重点テーマ》

### デジタルとリアルが融合した地域生活圏の形成

- 「地方の豊かさ」と「都市の利便性」の融合
- 生活圏人口10万人以上を一つの目安として想定した地域づくり(地域の生活・経済の実態に即した市町村界にとらわれない地域間の連携・補完)
- 「共」の視点からの地域経営(サービス・活動を「兼ねる、束ねる、繋げる」発想への転換)
  - ✓ 主体の連携、事業の連携、地域の連携
- デジタルの徹底活用によるリアルな地域空間の質的向上
  - ✓ デジタルインフラ・データ連携基盤・デジタル社会実装基盤の整備、自動運転、ドローン物流、遠隔医療・教育等のデジタル技術サービスの実装の加速化
  - ✓ 地域交通の再構築、多世代交流まちづくり、デジ活中山間地域、転職なき移住・二地域居住など、デジタル活用を含めたリアル空間での利便性向上
- 民の力の最大限活用、官民パートナーシップによる地域経営主体の創出・拡大

相互連携効果の発揮

### 持続可能な産業への構造転換

- GX、DX、経済安保等を踏まえた成長産業の全国的分散立地等
- 既存コンビナート等の水素・アンモニア等への転換を通じた基幹産業拠点の強化・再生
- スタートアップの促進、働きがいのある雇用の拡大等を通じた地域産業の稼ぐ力の向上 等

### グリーン国土の創造

- 広域的な生態系ネットワークの形成、自然資本の保全・拡大、持続可能な活用(30by30の実現、グリーンインフラの推進等を通じたネットワーク化)
- カーボンニュートラルの実現を図る地域づくり(地域共生型再エネ導入、ハイブリッドダム等) 等

### 人口減少下の国土利用・管理

- 地域管理構想等による国土の最適利用・管理、流域治水、災害リスクを踏まえた住まい方
- 所有者不明土地・空き家の利活用の円滑化等、重要土地等調査法に基づく調査等
- 地理空間情報等の徹底活用による国土の状況の見える化等を通じた国土利用・管理DX 等

地域の安全・安心、暮らしや経済を支える  
**国土基盤の高質化**

- 防災・減災、国土強靱化、生活の質の向上、経済活動の下支え [機能・役割に応じた国土基盤の充実・強化]
- 戦略的マネジメントの徹底によるストック効果の最大化
- ✓ DX、GX、リダンダンシー確保、安全保障、自然資本との統合等の観点からの機能高度化
- ✓ 賢く使う観点からの縦割り排除による複合化・多機能化・効果最大化
- ✓ 地域インフラ群再生戦略マネジメント等の戦略的メンテナンスによる持続的な機能発揮

**地域を支える人材の確保・育成**

- 包摂的社会に向けた多様な主体の参加と連携
- 子育て支援、女性活躍
- 関係人口の拡大・深化

### 分野別施策の基本的方向

- 地域の整備(コンパクト+ネットワーク、農山漁村、条件の厳しい地域への対応等)
- 産業(国際競争力の強化、エネルギー・食料の安定供給等)

- 文化及び観光(文化が育む豊かで活力ある地域社会、観光振興による地域活性化等)
- 交通体系、情報通信体系及びエネルギーインフラ

- 防災・減災、国土強靱化
- 国土資源及び海域の利用と保全(農地、森林、健全な水循環、海洋・海域等)
- 環境保全及び景観形成

### 計画の効果的推進 広域地方計画の策定・推進

- 地理空間情報等を活用したマネジメントサイクルと評価の実施
- 広域地方計画協議会を通じた広域地方計画の策定・推進

新しい資本主義、デジタル田園都市国家構想の実現

## 新時代に地域力をつなぐ国土

～列島を支える新たな地域マネジメントの構築～

### 地方の危機的状況

- ✓ 危機・難局に直面する地方を重視し、新たな時代へと刷新
- ✓ 各地域の地域力を結集し、国土全体でつなぎ合わせ、未来へとつなげる

## 地域力

地域課題を克服する  
守りの力



地域の魅力を高め  
人々を惹きつける  
攻めの力

地域の総合力・底力を最大限に発揮

地域を担う人材の主体的・内発的な地域づくり  
地域に対する誇りと愛着を原動力とした、  
地域に暮らし、関わる、住民等の多様な主体の参加と連携

有形・無形の地域資源を総動員

自然環境、  
景観、風土

歴史、  
文化・伝統

生活サービ  
ス、産業

国土基盤

生態系  
サービス

### 地域マネジメントのパラダイムシフト

《新たな発想からの地域マネジメントの構築》

縦割り分野  
ごとの地方  
公共団体で  
の対応だけ  
では限界



- 「共」の視点からの主体・事業・地域間の連携
- デジタルの徹底活用

- ◆ 地方に活力を取り戻し、安全・安心で、個性豊かな地域を全国に広げる
- ◆ 未来を担う若者世代を含め、人々を惹きつける地域の魅力を高め、地方への人の流れを創出・拡大

国土全体にわたる各地方の地域力の結集なくして、日本の未来はない

国土全体にわたる人口や諸機能の配置のあり方等に関する  
国土構造の基本構想

## シームレスな拠点連結型国土

- 国土全体にわたって、広域レベルでは人口や諸機能を分散
- 広域レベルからコミュニティレベルまで、重層的な生活・経済圏域の形成
- 各階層の圏域において、可能な限り諸機能を多様な地域の拠点に集約し、水平的・垂直的・多面的なネットワーク化
- デジタルとリアルとの融合により、時間や場所の制約を克服し、行政界を越えて、暮らしや経済の実態に即し、サービスや活動が継ぎ目なく展開

東京一極集中の是正  
地方と東京のwin-winの関係構築

国土の  
多様性  
(ダイバーシティ)  
包摂性  
(インクルージョン)  
持続性  
(サステナビリティ)  
強靱性  
(レジリエンス)  
の向上

人と人、人と地域、地域と地域が、質の高い交通やデジタルのネットワークでシームレスにつながり合う国土構造の構築

⇒ 「コンパクト+ネットワーク」をさらに進化・発展

# 「シームレスな拠点連結型国土」の構築に向けた全国的な回廊ネットワークの形成

## 人口や諸機能の広域的な分散

●四方を海に囲まれ、北海道・本州・四国・九州・沖縄本島の主要五島と多数の島々から成る南北に細長い日本列島において、人口が減少する中であっても、人々が生き生きと安心して暮らし続けている国土の形成を目指す。

●このため、時間距離の短縮や多重性・代替性の確保等を図る交通ネットワーク等の強化を通じ、国土全体におけるシームレスな連結を強化して、日本海側と太平洋側の二面を効果的に活用しつつ、内陸部を含めた連結を図る「全国的な回廊ネットワーク」の形成を図る。

## 日本海側＋太平洋側 二面活用 内陸部を含めた全国の連結強化

活発なヒト・モノの流動による  
イノベーションの促進

災害時等のリダンダンシー確保

陸海空のシームレスな  
総合交通体系の高質化  
＋  
デジタルの徹底活用

中枢中核都市等を核とした  
広域圏の自立的発展

広域圏内・広域圏間  
の交流・連携

アジア等海外  
との直接交流

日本中央回廊の形成  
リニア開業等による時間距離短縮  
等の効果を全国に波及

地方の中心都市を核とした地域生活圏の形成  
〈デジタルとリアルの融合による地域課題解決と地域の魅力向上〉

地方への人の流れの創出・拡大

# 日本中央回廊による効果の全国的波及(イメージ)

## ■日本中央回廊の特徴

- ▶ 東京～大阪間が約1時間(日本列島の東西時間距離が大幅短縮)⇒一体的な都市圏
- ▶ 三大都市圏を結び、多様な自然や文化を有する地域を内包する、世界に類を見ない魅力的な経済集積圏域(名目GDP:約360兆円、人口:約7,300万人)
- ▶ 5Gの整備や高規格道路における自動運転など、デジタルとリアルが融合したネットワーク効果による全国各地との交流の活発化

**全国各地との時間距離の短縮効果を活かしたビジネス・観光交流、商圏・販路の拡大等**

- ▶ 時間距離短縮がビジネスや観光等の人流を一層促進することにより、全国各地の地域資源を活かし、日本中央回廊と連携したビジネス・観光交流、商圏・販路が拡大

## 広域圏をまたぐダイナミックな対流によるイノベーションの創造

- ▶ 広域的な新幹線・高規格道路ネットワークの形成により、人流、物流、企業の取引関係の更なる拡大

## ダブルネットワークによるリダンダンシーの確保

- ▶ リニア中央新幹線の段階的開業により、東海道新幹線とともに、東京・名古屋間、さらに大阪へと三大都市圏を結ぶ大動脈が二重系化

## 新たな暮らし方・働き方の先導モデルの形成

- ▶ 移動時間の短縮効果、デジタル技術の活用が相まって、多様な暮らし方、働き方の選択肢を提供
- ▶ 特に、中間駅を核とした高速交通ネットワークの強化やテレワークの普及等を通じて、二地域居住等を一層促進



## 東海道新幹線沿線エリアの新たなポテンシャルの発揮

- ▶ 「ひかり」、「こだま」の増加による神奈川、静岡、愛知の沿線地域の活性化
- ▶ 中部横断自動車道等の整備による更なる利便性の向上と圏域の一体性の強化

## 新東名高速道路における自動運転トラック

- ▶ 駿河湾沼津～浜松間(約100km)
- ▶ 2024年度に実証開始(深夜時間帯自動運転専用レーン)

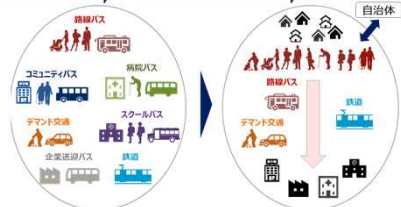


# 「地域生活圏」の形成で変わる地域の姿(イメージ)

地域をつなぐ持続的な  
モビリティ社会の実現

## 地域公共交通のリ・デザイン

交通手段が重複 → ネットワークの統合 → エリア一括協定運行



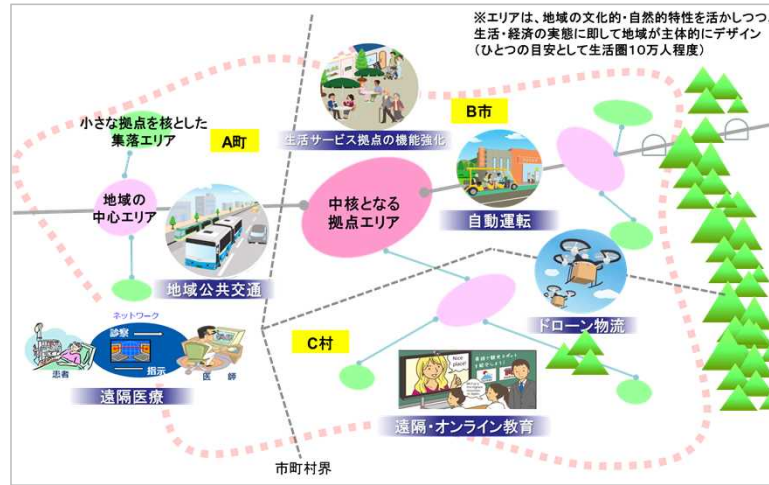
交通DX・GXや、地域の関係者との共創を通じ、地域公共交通ネットワークの  
利便性・持続可能性・生産性を向上  
⇒地域公共交通特定事業実施計画の認定:2027年度までに300件

## 自動運転



地域限定型の自動運転移動サービスの実現  
⇒50か所程度(2025年度目途)、  
100か所以上(2027年度まで)

※デジタル活用では解決できない地域課題に対しても、地方創生の一層の取組強化を図る。



## デジタル・ガバメントの推進

- ◆ 基幹業務等のシステムの統一・標準化、行政手続のオンライン化、マイナンバーカードの普及・利用促進等
- ◆ 「書かないワンストップ窓口」の横展開

## デジタル基盤の整備・活用

- ◆ 5G、光ファイバ等のデジタルインフラ、データ連携基盤
- ◆ 自動運転・ドローン物流等の実装を支えるデジタルライフライン(センサー、乗換え・積替え拠点等)

## 遠隔医療



住民に身近な場所を活用した遠隔医療  
⇒国の補助事業により遠隔医療を実施する医療機関:235件(2023~2027年度累計)

## 新たな発想からの地域マネジメント

- 「共」の視点からの主体・事業・地域間の連携(官民パートナーシップによる地域経営)
- デジタルの徹底活用による地域空間の質的向上

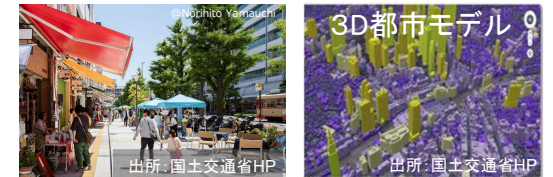
まちでも中山間地域でもデジタル活用で安心・便利な暮らし

## 「デジ活」中山間地域



スマート農業、ドローン物流等を組み合わせたプロジェクトを実現  
⇒2027年度までに全国150か所以上

## 多世代交流まちづくり



居心地が良く歩きたくなるまちなかづくり、建築・都市のDX  
⇒2027年度までに3D都市モデルの整備都市500都市

## 転職なき移住・二地域居住等



テレワークの普及等による地方への人の流れの創出・拡大、空き家等の活用促進

## 地域を支える人材の確保・育成

包摂的社会、こども・子育て支援、女性活躍、関係人口の拡大・深化

「地方の豊かさ」と「都市の利便性」の融合 → 全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会

# 国土の刷新に向けた重点テーマ【産業、環境、国土利用・管理】

## 持続可能な産業の構造転換

### 《地域の特徴を活かした成長産業の全国的な分散立地等の促進》

- 半導体や蓄電池等の成長産業の国内生産拠点の形成・強化、国内立地を支えるインフラの円滑・機動的整備、産業用地の円滑・迅速な確保
- 全国のDXを支えるデータセンターの分散立地(5年程度で全国十数カ所)
- 洋上風力発電の導入、関連産業集積の促進(2030年までに1千万kW)

### 《GXや巨大災害リスク対応に向けたコンビナート等の基幹産業拠点の強化・再生》

- 臨海コンビナート等のCO2多排出産業のGX成長投資の促進+巨大災害リスク対応
- 水素・アンモニア等のサプライチェーンの拠点となるカーボンニュートラルポート(CNP)の形成など、インフラ整備や規制の合理化・適正化
- 大規模な跡地の有効活用と必要なインフラ整備



高度な半導体工場の国内立地(熊本 TSMC)



アンモニア混焼実証事業が行われる愛知県碧南火力発電所

## グリーン国土の創造

### 《30by30による健全な生態系の保全・再生の促進》

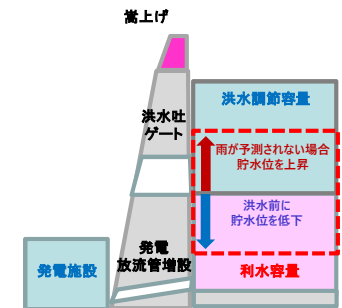
- 森・里・まち・川・海のつながりを確保した広域的な生態系ネットワークの形成促進
- 自然を活用した解決策(Nature-based Solutions: NbS)の発想に即したグリーンインフラによる複合的な地域課題の解決

### 《カーボンニュートラルの実現を図る地域づくり》

- 地域の脱炭素化に向けた脱炭素先行地域の創出、くらし・まちづくり・交通・インフラ・農林水産業等におけるグリーン化の推進
- 森林資源の循環利用の確立
- 地域共生型再エネ導入の促進、ハイブリッドダムへの展開



広域的な生態系ネットワークの形成イメージ



ハイブリッドダムのイメージ

## 人口減少下の国土利用・管理

### 《持続可能な国土と地域の形成に資する最適利用・管理》

- 住民発意と合意形成に基づき将来像を見据えて土地の管理方法の転換等を図る地域管理構想の全国展開
- 所有者不明土地、空き家の利活用円滑化等、荒廃農地、手入れが不十分な森林の発生防止・解消
- 地域の持続性確保につながる産業集積のための土地利用転換など関連制度の弾力的活用
- 土地の利用と管理についての安全保障をめぐる内外情勢の変化等を踏まえた対応

### 《安全・安心な国土利用・管理》

- あらゆる関係者が協働して流域全体で行う総合的かつ多層的な水災害対策である「流域治水」の推進
- 災害ハザードエリアにおける開発抑制とより安全な地域への居住誘導



流域治水の推進

# 国土基盤の高質化(ストック効果の最大化に向けた戦略的マネジメントの徹底)

国土基盤が果たすべき機能・役割が最大限に発揮されるよう、**安定的・持続的な公共投資の見通し**を持ち、計画的な整備や維持管理更新、効果的活用を通じた**戦略的マネジメントの徹底**により、**ストック効果を最大化**。

## 国土基盤の機能・役割の最大限の発揮(機能・役割に応じた国土基盤の充実・強化)

### 地域の安全・安心を支える

- 国土強靱化基本計画に基づき、中長期的かつ明確な見通しの下、継続的・安定的に防災・減災、国土強靱化の取組を推進

### 地域における生活の質を向上する

- 地域生活圏の形成に向けた取組とも連動し、生活者の視点を重視して、デジタルの徹底活用により、リアルの地域空間の質的向上を図る

### 経済活動を下支えし、生産性を高める

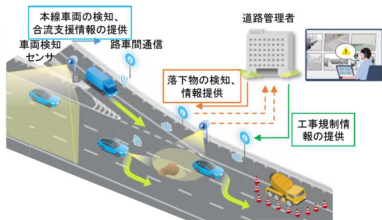
- 移動時間の短縮や定時性の向上、生産活動の効率化や高度化等により民間投資を誘発し、様々な経済活動を下支え

## 国土基盤の高質化に向けた戦略的マネジメントの徹底

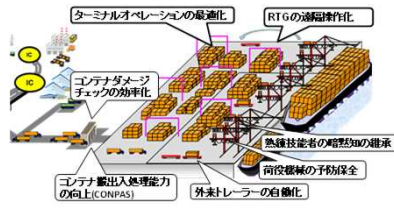
### 社会経済状況の変化に応じた国土基盤の機能高度化

#### DX

- 光ファイバ・5G等のデジタルインフラ
- 国土基盤におけるデジタル活用 等



自動運転車の走行支援



ヒトを支援するAIターミナルの実現

#### GX

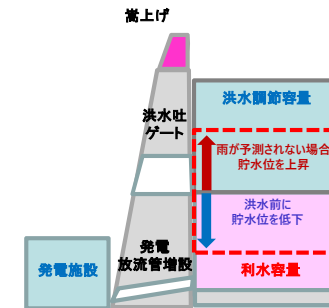
- 電力系統等のエネルギーインフラ
- 国土基盤における脱炭素化 等



カーボンニュートラルポートの形成

### 賢く使う観点からの国土基盤の複合化・多機能化・効果最大化

- 縦割り排除による複合的・多目的活用
- ソフト施策と組み合わせた効果最大化 等



ハイブリッドダムのイメージ



「道の駅」の防災機能の整備・強化

### リダンダンシー確保、安全保障

- 交通等の全国的な強靱なネットワーク機能の強化
- 安全保障の観点からの公共インフラの整備等 等



東海環状自動車道  
R4.3時点  
凡例 ⑥車線 ④車線 ②車線 未供用区間  
中部圏 東海環状自動車道(2026年度全線開通予定\*)  
※用地取得等が順調な場合

ミッシングリンクの解消



貨物鉄道ネットワークの強化

### PPP/PFI

- コンセッション等のPPP/PFIの活用拡大
  - ✓ 原則、全空港へのコンセッションの導入促進
  - ✓ 上下水道、工業用水道等でのコンセッション拡大
  - ✓ Park-PFI、高速道路SA/PAのPFI 等



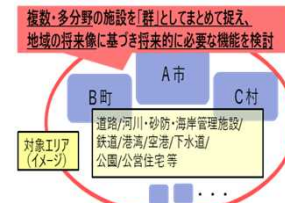
空港コンセッション



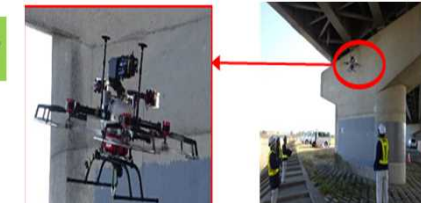
下水道(民間収益施設併設)

### 戦略的メンテナンスによる国土基盤の持続的な機能発揮

- 予防保全型メンテナンスへの本格転換、広域的・戦略的マネジメント
- 新技術・官民連携手法の普及による高度化・効率化 等



地域インフラ群再生戦略マネジメント



ドローンを活用したインフラの点検 7



# 地域を支える人材の確保・育成(包摂的社会的実現、地域におけるこども・子育て支援)

地域人材の不足が深刻化する中、**多様性に富む包摂的な社会、こどもまんなか社会**の実現を通じて、**地域力**を高めるとともに、**地方への人の流れの創出・拡大**につなげ、我が国全体の**少子化の流れを変える**。

## 包摂的สังคมに向けた地域づくりへの多様な主体の参加と連携 《地域における人への投資拡大》

➢ 地域社会の中で**居場所**を持ち、希望を持って暮らし、働き、活動できる地域づくり

若者

女性

高齢者

障害者

外国人

《人々の多様化する価値観に応じた暮らし方・働き方の選択肢を広げる》  
➔ **地方への人の流れを創出・拡大し、少子化の流れを変える**

※若者世代の地方からの流出、出生率が低い東京への集中が続けば、未曾有の少子化に拍車をかけ、人口減少がさらに加速するおそれ

## 民間の力を最大限活かした 新しい公共の領域拡大

《地域づくりへの企業等の主体的参加の拡大》

- 企業版ふるさと納税や地域活性化起業人等の制度も活用し、ソーシャルベンチャー等の社会的課題の解決に取り組む企業等と地域との連携を推進
- ソーシャルボンドやインパクト投資の活用促進
- コンセッションを始めとするPPP/PFIの拡大

## こどもまんなか社会に向けた 地域におけるこども・子育て支援

➢ 地域生活圏の形成等における**安心してこどもを産み、育てられる「共働き・共育て」等の環境整備**など若者世代を惹きつける地域づくり

- ✓ 良質な住宅の供給、円滑な確保支援
- ✓ 保育所の整備等の就学前教育・保育の充実
- ✓ 子育てしやすい都市・地域空間づくり、安全で快適な道路、公園等の整備、公共空間等における子育てバリアフリー化
- ✓ 多世代交流拠点づくり
- ✓ テレワークを活用した転職なき移住、二地域居住等の受け皿づくり
- ✓ 魅力的な仕事の創出 等



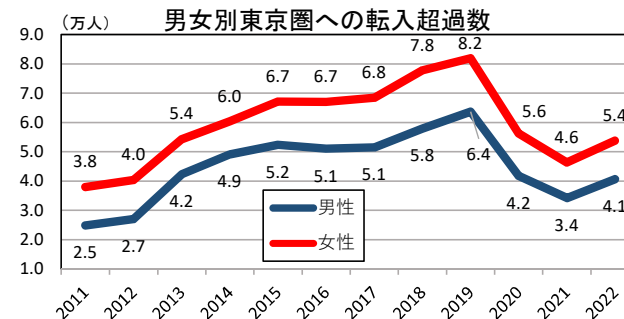
こどもの創造力を育む公園



鉄道車両内の優先スペース

## 女性活躍の促進

➢ 地方における教育・就業環境整備を通じた**女性が能力を発揮**できる魅力的な地域づくり



(出典)総務省「住民基本台帳人口移動報告」より 国土政策局が作成  
(備考)東京圏は東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県を指す。値は日本人移動者数。

## 関係人口の拡大・深化

➢ **二地域居住者等を含む関係人口の拡大、地域とのつながりの深化**に向けた「人」「場」「仕組み」づくり

⇒2032年度を目途に**1.5倍程度に拡大**  
アプリによる「1/2村民」登録制度(山梨県小菅村)

- 村で利用できるポイント発行や情報発信等を通じて村づくりに関わる接点を創出(開始4年で3,000人以上登録)



「1/2村民」による梅取りボランティア

## 地域教育の強化

- 大学、高等専門学校等と連携した地域人材の育成
- 地域と連携した探究学習、農山漁村体験等の推進 等

## 地方・大都市間の人材還流、マッチング機能の強化

- 転職なき移住、副業・兼業等による地方への人材還流の促進
- マネジメント人材やデジタル人材等に関する地域と企業等のマッチング促進 等

# 分野別施策の基本的方向

## 第1章 地域の整備

### ①地域生活圏の形成等に資する持続可能な地域づくり

・地域特性に応じた地域ビジョンの実現に向けた取組の推進、地方移住、二地域居住等の促進による地方への人の流れの創出等

### ②人中心のコンパクトな多世代交流まちづくり

・都市のコンパクト化とネットワークの構築等

### ③美しく暮らしやすい農山漁村の形成

・地域資源を活用した所得と雇用機会の確保、中山間地域等を始めとする農山漁村に人が住み続けるための条件整備等

### ④包摂的社会的実現に向けた地域づくり

・子育て世代や高齢者など誰もが安全・安心に暮らせる環境の整備、女性、高齢者等が活躍できる社会の実現等

### ⑤住生活の質の向上及び暮らしの安全・安心の確保

### ⑥我が国の成長をけん引する大都市圏等の整備

### ⑦地理的、自然的、社会的条件の厳しい地域への対応

・離島地域、豪雪地帯、山村地域、半島地域、過疎地域

## 第2章 産業

### ①GX・DXを始めとする産業の国際競争力の強化とイノベーションを支える環境整備、科学技術を支える基盤の強化と人材の育成

### ②海外からの投資を呼び込む環境整備

### ③地域を支える活力ある産業・雇用の創出

### ④GXを先導する世界最先端の技術を活かしたエネルギー需給構造の実現

・安定的なエネルギー供給の実現、再エネの活用拡大と分散型エネルギーシステムの構築、水素社会の実現等

### ⑤食料等の安定供給と農林水産業の成長産業化

・食料の安定供給と食料安全保障の確立、農業・食品産業の成長産業化の促進と農業の持続的な発展等

## 第3章 文化・スポーツ及び観光

### ①文化・スポーツが育む豊かで活力ある地域社会

・個性豊かな地域文化の保存、継承、創造、活用等

### ②観光振興による地域の活性化

・持続可能な観光地域づくり、消費額拡大・地方誘客促進を重視したインバウンドの推進等

## 第4章 交通体系、情報通信体系及びエネルギーインフラの高質化

### ①シームレスな総合交通体系の高質化

・国際交通拠点の競争力強化、全国各地とアジアとの交流の拡大、国内幹線交通体系の高質化等

### ②情報通信体系の構築

・デジタルインフラの整備・運用、ICT・データ利活用の促進等

### ③エネルギーインフラの高質化

・エネルギーネットワークの充実、水素社会の実現に向けたインフラ整備等

## 第5章 防災・減災、国土強靱化

### ①適切な施策の組合せと効率的な対策の推進

・防災・減災に資する施設の整備、土地利用の推進等

### ②都市の防災・減災対策の強力な推進

### ③安全な農山漁村の実現

### ④諸機能及びネットワークの多重性・代替性確保等による災害に強い国土構造の構築

・中枢管理機能等のバックアップ等、交通・物流ネットワークの強靱化、エネルギー・産業の強靱化

### ⑤戦略的メンテナンスによる国土基盤の持続的な機能発揮

・予防保全型メンテナンスへの本格転換、広域的・戦略的なマネジメント等

### ⑥自助、共助とそれらを支える公助の強化

## 第6章 国土資源及び海域の利用と保全

### ①農地等の利用の増進

・農業の担い手への農地集積・集約化と農地の確保等

### ②次世代に引き継ぐ多様で健全な森林

・多様で健全な森林の整備及び保全の推進等

### ③健全な水循環の維持又は回復等

・流域の総合的かつ一体的な管理の推進、地下水の適正な保全及び利用等

### ④海洋・海域の保全と利活用

・海洋権益の保全及び海洋資源・海洋再エネの開発等の利活用の推進、陸域と一体となった自然環境の保全・再生、離島の適切な保全・管理と領土・領海及び排他的経済水域等の確保・開発等

## 第7章 環境保全及び景観形成

### ①生物多様性の確保及び自然環境の保全・再生・活用

・30by30目標等を踏まえた自然環境の保全・再生・活用等

### ②物質循環の確保と循環型社会の形成

### ③地球温暖化の緩和と適応に向けた取組、地球環境問題への対応

### ④大気環境の保全、土壌汚染対策の推進等

### ⑤美しい景観、魅力ある空間の保全、創出と活用